

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
くれよんきつず 中川教室		令和 7年 11月30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		適切な活動スペースを確保し、活動しやすい環境を整えています	部屋が別れている為、職員が目きちんと行き届くよう職員間で声掛けを行います
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		利用児の状況に応じて適切な人員配置を行っています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		きちんと静養室、玩具部屋、放デイ、児発の部屋に分けられていて分かりやすい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日清掃されており清潔な空間となっています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		パニックなどを起こした時に静養室を使いクールダウン出来るようになっています	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		施設会議や朝礼等で日々の支援の振り返りや新たな課題を話し合い、実践する事ができています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者からのご意見を大切にし、改善が必要な場合は迅速に対応しています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員との面談、施設会議や朝礼等で意見を聞き取り改善に努めています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	市による運営指導などを受け業務改善を行っている	現在はご利用者と社内の評価のみとなっておりますが、今後の検討課題としてまいります
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		施設内研修や外部研修の参加を定期的に行い、支援の質向上に努めています	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		適切な支援プログラムを作成し、HPに公表をしています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		保護者面談や職員会議を行い、ニーズを把握し支援計画書を作成しています	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		施設会議で職員全員で児童のモニタリングや今後の課題などを話し合い共有しています	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		日々支援目標を把握出来るよう、支援方法や経過記録の記入など職員で振り返ったり共有出来るようになっている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		日々の支援経過記録にて、児童の行動や課題など確認できるようになっています	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		支援記録やモニタリングを通して、保護者様の意向を汲みながら児童発達支援ガイドラインに基づいて個別支援計画書を作成しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		全職員にプログラム案の提出があります	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎月プログラムを作成し、季節の行事やイベントを取り入れたり活動内容の工夫を図っています	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		一人ひとりの発達や課題に応じて計画を作成しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼にて一日の流れや支援内容等を確認しています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援で起こった出来事や特変など職員間で共有をしています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		個別支援経過記録を用いて行っています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		概ね6か月に一度モニタリングを行い見直しをしています	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者や相談支援員等精通した者が参加しています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		協力医療機関にご協力いただき体制を整えています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		保護者様のご要望に応じて情報交換、共有を行っています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		保護者様のご要望に応じて情報交換、共有を行っています	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	1	連携は図っているが助言を受ける機会を設けられていない	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	活動時間が短い為、なかなか交流する事が難しい	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳で利用日の様子を毎回お伝えしたり送迎時にその日にあった出来事を口頭でお伝えしています	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		保護者会などにて、ご自宅でのお子様へのかかわり方や声掛けの仕方などの情報を共有しています	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時にご説明し、不明な点等を確認しながらおこなっています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		契約や面談に保護者様のご意見だけでなく、児童の権利や利益を優先する旨を伝えていきます	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		個別支援計画書を確認して頂き同意を得ています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		定期的にモニタリングを行い相談の時間を設けています。また必要に応じて面談等も行っています	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者、兄弟参加型のイベントを定期的に行い相互交流がはかれるようになっています	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談や申し入れがあった場合は電話や面談等にて丁寧かつ適切に対応しています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月のお便りや週に1度Instagramの更新を行い活動の様子を発信しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		法人内の個人情報保護規定に沿って対応しています	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		可視化やサイン等、配慮しながら行っています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		今後地域のイベントに参加したり、個人情報に配慮しながらイベントに招いたり交流を図っていききたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		年に2度避難訓練週間を設けており、保護者様にも対応マニュアルをお渡ししています	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		年に2度避難訓練週間を設けており、職員間でBCPについて意識を高めています	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		服薬、予防接種などは連絡帳にご記入いただく事も必要と感じています	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		健康状況票を記入していただき、事前に確認を行っています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		定期的な研修や設備点検などを行い安全に活動を行える環境を整備しています	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		災害時などの連絡網や避難場所など、保護者様に説明を行っています	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットがあった時には内容を共有し改善策を話し合っています	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に社内研修を行い虐待防止の徹底に努めています	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		現在身体拘束は行っていないですが、必要時には十分な説明、了解を得て個別支援計画書に記載して参ります	